



2025年度 入学始業礼挙式式次第

2025年4月13日(日)午後3時

司式 チャプレン 司祭 真野 玄範 チャプレン
司会 教頭 勝見 昌浩

○聖歌 540番(入堂)

○聖語

司式者 主はその聖なる宮にいます
一 同 全地はそのみ前に沈黙せよ
司式者 あなたの若い日にあなたの造り主をおぼえよ
一 同 主は牧者であってわたしは乏しいことがない
司式者 栄光は父と子と聖霊に
一 同 初めのように、今も世々に限りなく アーメン

○詩篇 34編

司式者 わたしは常に主をたたえ// 絶えず賛美を口にする
一 同 わたしの心は主をたたえ// 貧しい人もそれを聞いて喜ぶ
司式者 心を合わせて主をあがめ// ともにみ名をたたえよう
一 同 わたしが主を求めるとき、神はこたえられ// すべての恐れから助けてくださった
司式者 神を仰げば人の顔は輝き// 恥を受けることはない
一 同 苦しむ者が主に叫ぶと、神は聞き// 悩みの中から救い出してくださった
司式者 神を畏れる人の周りには、主のみ使いは陣を敷き// 彼らを助け出してくださる
栄光は父と子と聖霊に
一 同 初めのように、今も世々に限りなく アーメン

○主の祈り 天におられるわたしたちの父よ、み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

みこころが天に行われるときおり地にも行われますように。

わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。

わたしたちの罪をおゆるしください。わたしたちも人をゆるします。

わたしたちを誘惑におちいらせぬ、悪からお救いください。

國と力と栄光は、永遠にあなたのものです アーメン

○聖書 コロサイの信徒への手紙 3章 12~17節 (H3-2 松岡 理成)

あなたがたは神に選ばれ、聖なる者とされ、愛されているのですから、憐れみの心、慈愛、謙遜、柔軟、寛容を身に着けなさい。互いに忍び合い、責めるべきことがあっても、赦し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたも同じようにしなさい。これらすべてに加えて、愛を身に着けなさい。愛は、すべてを完成させるきずなです。また、キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい。この平和にあづからせるために、あなたがたは招かれて一つの体とされたのです。いつも感謝していなさい。キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、諭し合い、詩編と賛歌と靈的な歌により、感謝して心から神をほめたたえなさい。そして、何を話すにせよ、行うにせよ、すべてを主イエスの名によって行い、イエスによって、父である神に感謝しなさい。

- 校歌斎唱
- 式 辞
- 新入生歓迎
- 祝 辞

立教英國学院 校長 岡野 透

- 新任教員紹介
- 立教英國学院特徴

真理と愛の源であり、すべての人の造り主、万民の父である全能の神よ。わたしたちが常に正しい理想(ねがい)を失うことなく、知恵と一致を得るのは、ただあなたの恵みにほかありません。どうか、みな名によって建てられた立教英國学院を見守り、その全ての行いを祝福し、導きのみ手を差しのべ、ますます学院の徳を確かなものとし、常に変わることのない、主の栄光を輝かすことができますように。また、教える者と学ぶ者とを祝福し、共に知識を深め、主の真理と愛とを悟らせ、常に謙遜の心を抱いて、唯一の父である主を仰ぎ、互いにいたわり、互いに励まし合うことが出来ますように。み子、わたしたちの救い主イエス・キリストによってお願ひいたします。

- 祈祷・祝祷
- 聖 歌 532番(退堂)

【今週の誕生日】

4月13日	奥野 卓也
4月14日	M1 恩田 光
	H3-2 梅原 大輝
4月15日	島村 正和
4月17日	M3 近内 菜理

校 歌 作詞 縣 康

1. 東雲さむる丘の上 春の光のみつるとき
信もて集う若人が 呼ぶや希望と愛のうた
2. マロニエ並木落葉して 梢に高き北斗星
真理の門を叩けやと ささやく如くまたたきぬ
3. ここ南英の学び舎に 愛の訓えの帶をしめ
もろ国人を友として 行くべき道を究めなん
4. 世界の平和成らんとき 栄光とわにあれかしど
ともにたたえんわが母校 立教英國学院を

入堂聖歌 540

1 やさしき息吹の くしき恵み
おろかなわれをも 招き入れる

2 ゆるしの恵みを たの頼みとして
畏れつつわれは 抱かれゆく

3 恵みの神こそ われを守る
命ある限り 主は わが盾

4 危うき誘いを はらいのけて
神のみ住まいへ いざなわれる

5 日の照り輝く とき
神へのほめ歌 うた 時はめぐり
と 永遠にひびく

退堂聖歌 532

- 1 エルサレムの町の 羊の門
天使は舞い降り 羽にて水を
池の水がうごく その時には
ベトザタの池には 病も人びと
静かに打つとき 病去る
われ先にと走り 癒しを待つ
- 2 池のほとりに主は 今たたずみ 痛み苦しむ人に 語りかける
「起き上がりなさい とこかつて」 痊しの言葉に 包まれて
長い病の日々 すべて終わり その身は癒されて 歩み進む
- 3 救いの火を灯し 人を愛し われらの罪を負い 十字架につく
イエスはよみがえり 永遠の命を この世に示して 死を碎く
おのれに生きる日々 今 打ち捨て イエスの示す道を 絶えず歩む